



クラシノソコアゲ応援団！ RENGU キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.49 2017.5.29 発行責任者 連合北海道組織労働局

STOP！長時間労働、実効ある働き方改革実現

「交通インフラは国が保障すべき社会資本」

5月23日夕刻に十勝から釧根へ。音別、白糠町をテープ街宣しながら釧路市に到着。24日は鶴居、弟子屈、標茶、中標津に入り、5ヶ所で街頭演説を行い住民にアピール。翌25日は別海、根室、浜中、厚岸から釧路へ、8ヶ所で街頭演説を行い、午後6時からアクアパールで釧根集会を開催し組合員ら211名が参集した。

集会では、釧根地協浅野会長の挨拶の後、酒巻民進党7区幹事長の連帯挨拶、連合北海道高倉副会長の基調提起を受けた。決意表明でJR北海道労組



浅野会長



鈴木執行委員

釧路地本の鈴木執行委員はJR北海道の事業見直し問題に触れ、「交通インフラは国が保障すべき社会資本、地域の足として愛され利用されるJR北海道をめざしてしっかり声を上げていきたい」と訴えた。また、自治労釧路町職の菅原書記長は「法律も重要だが具体的改善を行うのは労働組合の役割、70万人ともいわれる自治体の非正規職員の均等・均衡待遇に向けて、職場から取り組みを強化していく」と決意を述べた。



菅原書記長

集会に引き続いて、「何が問題？安倍政権の狙いは？！」と題して篠田奈保子弁護士を講師に招いて共謀罪学習会が民進党7区と共催で開催された。この中で浅野会長は、国会を軽視した安倍政権に断固講義するとともに、廃案に向けた行動を一層強めていかなくてはならないと強く訴えた。



篠田弁護士



26日は釧路町の街頭でスタートし中標津の街頭をへ

て、標津、羅臼から網走地協へと引き継がれた。釧

路管内5市町村で岡田遼釧路市議が、他市町でもそれぞれ推薦議員が演説を担っていただいた。釧根地協管内で851キロを走行、全自治体をまわって14ヶ所で街頭演説を行い聴衆は266人（地区集会を除く）を数えた。5月10日からの走行距離は4,519キロにのぼった。

釧路町二トリ前で演説する岡田釧路市議

今後の日程	5月30日	宗谷集会	18時00分	稚内総合文化センター
	6月1日	留萌集会	18時00分	留萌市中央公民館

